

## A 雑草の種類と特徴

雑草の定義には「農耕地で人間の営んでいる経済行為に相反して、直接または間接に作物を害して生産を減少させ、農耕地の価値を低下させる作物以外の草本」（荒井 1951）また「望まれないところに生える植物」（アメリカ雑草学会 1945）等がある。

また、食用や観賞用に栽培すれば作物となり、有用な作物でも目的以外の場で生育すれば、雑草になる。

日本に生育する雑草は数百種あると言われているが、雑草は種によって発生、生育する環境条件が異なり、発生する場所・形態・時期・生活史等によって分類されることが多い。

### (1) 雑草の分類

#### i) 発生する場所による分類

水田雑草、畑雑草、草地雑草、芝雑草等と呼ばれる分類で、一般的に水田に発生する雑草は多湿条件を好み約200種、畑地に発生する雑草は乾燥条件を好み約300種と言われている。

また、このうち70～80種は水田、畑地に共通して発生する種である。実際に問題となる雑草は、水田、畑とも10～20種である。

#### ii) 形態による分類

雑草の形態的な特徴による分類で、イネ科雑草、広葉雑草に分類される。

イネ科雑草はイネのように細長い葉を持ち、葉脈が平行である。広葉雑草はイネ科以外で、葉の形が広く葉脈が網状である。さらに、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科等があり、最も基本的な植物の分類基準になっている。

#### iii) 生活史による分類

一年生雑草と多年生雑草に分類され、一年生雑草は一年間のある時期に枯れて種子だけを残し、毎年新しい種子から発生する雑草である。また、一年生雑草の中には、秋に発芽し、越冬後に開花・結実する越年性雑草も含まれる。多年生雑草は、地上部は枯れても根茎や球茎等の体の一部が残り、そこからまた栄養成長し、繁殖する特性をもつものである。また多年生雑草の多くは種子からも繁殖する。

#### iv) 発生（生育）時期による分類

夏雑草、冬雑草と呼ばれるように、発生（生育）する時期による分類である。夏雑草は、春先に発芽し夏に生育が旺盛で、秋に開花・結実する。冬雑草は、晩秋に発芽し、冬に生育が旺盛で春に開花・結実する。

また、一般的に種子や塊茎は成熟後しばらく休眠し、夏雑草では冬、冬雑草では夏をそれぞれ経過して、各雑草の好適条件（気温、水分等）になると発芽してくる。

#### v) その他での分類

生態的な分類とは異なり、雑草防除の面から特に防除が困難な雑草を、「難防除雑草」として区分する場合がある。水田で発生するものとしては、クログワイ、オモダカ、コウキヤガラ、シズイ等、畑地で発生するものとしては、スギナ、ツユクサ等がある。

### (2) 主要な雑草

#### i) 水田の雑草

水を張った水田に適応して発生する雑草で、主なものは次のようなものがある。

##### [一年生雑草]

イヌビエ、タイヌビエ、コナギ、タマガヤツリ、ミズアオイ、アゼナ、ミゾハコベ、ヒメミソハギ、タウコギ、タカサブロウ、アメリカアゼナ、アゼトウガラシ、アメリカセンダングサ、クサネム、イボクサ、ナガボノウルシ、アゼガヤ等

##### [多年生雑草]

イヌホタルイ、マツバイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、ヘラオモダカ、クログワイ、オモダカ、シズ



農薬使用時はラベルをよく読み、記載された登録内容に基づいて使用するとともに、農薬の使用を指導する際は最新の登録情報を入手してください。



熊本県の防除指針に採用されている農薬の検索システムへのアクセスはこちら！

イ、コウキヤガラ、ヒルムシロ、キシユウスズメノヒエ、サヤヌカグサ等

ii) 畑・樹園地等の雑草

[一年生雑草]

イヌビエ、メヒシバ、オヒシバ、エノコログサ、スズメノカタビラ、スズメノテッポウ、カヤツリグサ、イヌタデ、オオイヌタデ、スベリヒユ、ハコベ、シロザ、ホソアオゲイトウ、イヌビユ、ナズナ、タネツケバナ、スカシタゴボウ、イヌガラシ、カラスノエンドウ、ホトケノザ、ヒメオドリコソウ、オランダミミナグサ、ヤエムグラ、ツユクサ、ハキダメギク、ノボロギク、オオイヌノフグリ、イチビ等

[多年生雑草]

チガヤ、イヌムギ、シバムギ、カタバミ、セイヨウタンポポ、ハルジオン、ヨモギ、オオバコ、シロツメクサ、コヒルガオ、エゾノギシギシ、ハマスゲ、スギナ等

iii) 近年問題となっている雑草

帰化アサガオ類（マルバアサガオ、アメリカアサガオ、マメアサガオ、ホシアサガオ、マルバルコウ）、ヒロハフウリンホオズキ、センナリホオズキ、イヌホオズキ、ノゲイトウ、マルバツユクサ、ワルナスビ、アレチウリ（※）、ナガエツルノゲイトウ（※）、ナルトサワギク（※）、オオキンケイギク（※）

※印は、特定外来生物



農薬使用時はラベルをよく読み、記載された登録内容に基づいて使用するとともに、農薬の使用を指導する際は最新の登録情報を入手してください。



熊本県の防除指針に採用されている農薬の検索システムへのアクセスはこちら！